

知って  
おきたい

# 災害に備えて 今できること



これから、豪雨や台風などによる災害が発生しやすい時期です。災害は、いつ、どこで、どのような形で起こるかわかりません。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、日ごろから準備をしておきましょう。

## 平時に確認 自分や家族でできる日ごろからの備え

- 避難所までの経路や移動手段を確認しましょう



- 災害時の役割分担、連絡方法などを事前に家族で話し合しましょう



- 非常持出品を用意しましょう

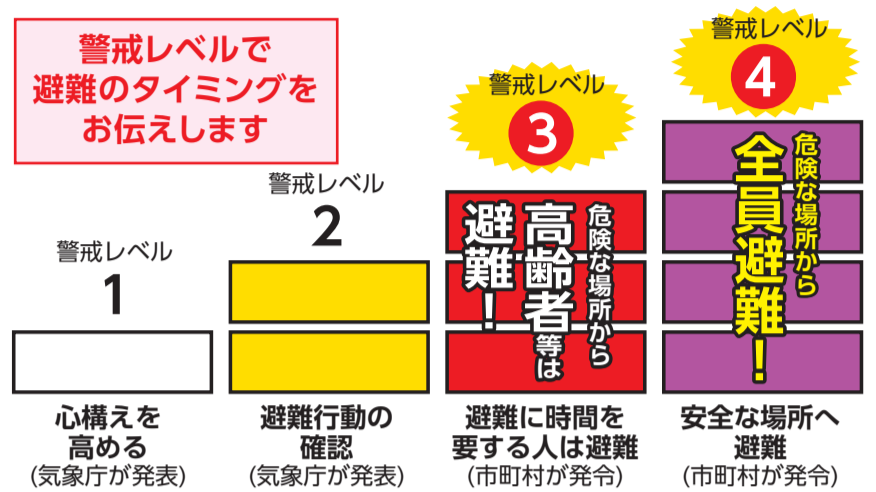
最低3日分程度(できれば1週間分)の食料・飲料水や携帯ラジオ、懐中電灯などを用意しましょう。

特に離島は物流が滞ることが予想されますので、注意しましょう。



- 5段階の警戒レベルについて知っておきましょう

警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします



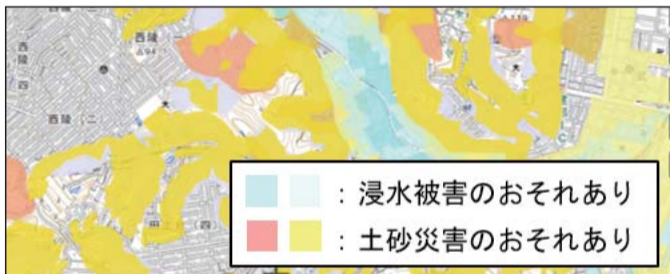
[警戒レベル5](市町村が発令)は既に災害が発生している状況です

## 自分の身の回りの災害リスクを確認しましょう

- ハザードマップ※で自宅や職場、学校周辺に危険箇所がないか確認しましょう

※自然災害についてその被害の及ぶ範囲や避難する場所などを示した地図。

ハザードマップの例



色が塗られていれば、避難する場所を確認!



ハザードマップポータルサイト

こんな地形では、こんな災害に注意!

<b>山間部</b>  <b>山崩れに注意</b> ・集中豪雨だけでなく、地震によっても発生 ・特にシラス地帯は崩れやすいので注意	<b>急傾斜地</b>  <b>がけ崩れに注意</b> ・豪雨などによって突然発生
<b>扇状部</b>  <b>山間部の集中豪雨に注意</b> ・豪雨によって山崩れが起ると、土石流の危険	<b>河川周辺</b>  <b>洪水に注意</b> ・豪雨によって河川の流域や、かつて河川敷だったところに発生

土砂災害が起きるおそれが非常に高くなったときは、「土砂災害警戒情報」が発表されます。

テレビのリモコンのdボタンを押すと、天気予報など各種情報を確認できます。

※危険箇所の詳しい地域については、お住まいの市町村などに確認してください。

## 避難所における新型コロナウイルス感染症対策

感染症の拡大防止には、避難所における十分な換気の実施や、スペースの確保などのほか、避難者全員の協力が必要です。次の内容について確認や準備をお願いします。

- 避難所における3密回避のため、『分散避難』を行いましょ

- ・ 自宅で安全確保ができる場合は、在宅避難を検討しましょう
- ・ 安全が確保できる親戚・知人宅等への避難を検討しましょう

- マスク、消毒液、体温計などを持参しましょう

- 持参品は、洗剤などを用いて定期的に清掃しましょう

- 健康状態(体温、嗅覚異常など)を確認しましょう

- 換気を実施し、他の人とは十分な距離をとりましょう

- 手洗い、咳エチケットなどの対策を徹底しましょう



## 災害に関する情報はこちら

- 鹿児島県危機管理・防災ホームページ

鹿児島県 防災 検索

- 鹿児島県防災WEB

- 鹿児島県危機管理防災局ツイッター (ユーザー名:kikikanrikago)

- 土砂災害警戒区域等マップ 県内の土砂災害警戒区域等の閲覧検索ができます。

- 鹿児島県河川砂防情報システム 県内の雨量や水位、土砂災害警戒情報、気象警報等について情報提供します。

スマートフォン版



携帯電話版

